



# 河内音頭 囃し

本調子

2/2

一、エーさては一座の皆様へ

ちよいと出ました私

は

おみかけ通りの悪声で ヨホイイホ

イ

まかり出ました未熟者お気に召すよ  
うにゃ

読めないけれど 七百年の昔より

唄い続けた河内音頭にのせまして

せいこんこめて唄いましよ

ソラ ヨイトコサツサノ ヨイヤサ

ツサ

エー 大和と河内の国境

中にひとときわ悠然と

ヨーホイホイ エンヤコラセ

ドッコイセ

そびえて高き金鋼山 よ 建武の昔

大楠公

その名も 楠正成公 今に伝えた民

謡

河内音頭と申します 聞いておくれ

よ

荷物にやならぬ 聞いて心も

うきうきしや

んせ

気から病が出るわいな

唄の文句は小粋でも 私しや未熟で

とつてもうまくも きつちり實際ま

ことに

みごとに読めないけれど

八千八声のほととぎす

血をはくまでも つとめましよ